

## 東アジア日本語・日本文化研究会規約

### 第1章 総則

第1条 本会は「東アジア日本語・日本文化研究会」(East Asian Society of Studies on the Japanese Language & Culture) と称する。

第2条 会は日本語、日本語教育、日本文化の実証的研究ならびに関連分野の研究に寄与することを目的とする。

第3条 会は次の事業を行う。

1. 大会その他の研究集会の開催
2. その他必要な事業

第4条 会は諸事業を推進するため運営委員および事務局を置く。

第5条 会の支部を運営委員会の承認を経て各国に置くことができる。

### 第2章 会員

第6条 本会の会員は通常会員の1種類とする。

第7条 通常会員は、本会の趣旨に賛成し、所定の手続きを経て、本会に登録された個人、および団体とする。

第8条 会員は諸種の会合および事業の通知を受け、事業に参加することができる。また、所定の手続きを経て、研究集会でその研究を発表することができる。

### 第3章 役員

第9条 本会に次の役員を置く。

会長	1名
日本側代表	1名
韓国側代表	1名
中国側代表	1名
事務局長	1名
運営委員	日本側、韓国側、中国側から若干名
会計	1名
会計監査委員	1名

第10条 会長および事務局長は、運営委員の推薦によるものとする。任期は2年とし、再任を妨げない。

第11条 運営委員は会員の互選によるものとする。任期は2年とし、再任を妨げない。

第12条 運営委員は、委員会の構成員として、次の任務を遂行する。

1. 研究集会にかかわる事項の決定
2. 予算及び収支決算の承認
3. 本会支部設立の承認
4. 会計、庶務、渉外の事務

5. その他運営委員が必要と認めるもの

第13条 本会の規約の変更は運営委員会の発議により、会員総会で承認を得る。

第14条 会計監査委員は会員の互選による。任期は2年とし、再任を妨げない。また会計の状況を委員会に報告する。

第4章 会議

第15条 定例会員総会は、年に1回会長がこれを招集する。また、必要な場合臨時会員総会を招集することができる。

第16条 定例運営委員会は、年に1回以上招集される。必要に応じて、運営委員会をWeb会議とすることもできる。その場合、議事は期日までの意思表示の3分の2の賛成をもって承認されることとする。

第5章 会計

第17条 本会の会費は、会費、寄付金等を以ってこれに充てる。

第18条 運営委員会は、予算案および収支決算書を作成する。予算案および収支決算書は会計監査委員の監査を経て、会員総会で承認を得る。

第19条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第6章 事務局

第20条 事務局を事務局長もしくは運営委員の所属する大学に置く。

第21条 事務局は会費の徴収、会場の手配、会員に対しての連絡などを執り行う。

2014年10月1日制定